



金融庁 予算監視・効率化チームの 上半期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

金融庁



項目	活動内容
(1) チームリーダーによる上期取組み総評	<ul style="list-style-type: none">・ 当庁の予算執行は総じて適切に行われている。・ 行政事業レビュー点検結果を反映(96百万円減)の上、23年度概算要求に当たって、24,341百万円の要求・要望とした。・ システム関連経費については、より適切かつ効率的な執行の実現に向けて、プロジェクト管理等の面で改善の余地もある。・ なお、当庁の予算は、約7割が人件費であり、各省庁画一的な手法による行政事業レビューの実施は馴染まない面もあると考えられる。
(2) 外部有識者による上期取組みコメント	<ul style="list-style-type: none">・ システム関連においては、短期的な経費削減だけに過度に力点を置くと、長期的な効率性等に逆効果となる可能性もあることを踏まえ、長期的な視点をもって、システムを構築していく必要がある。・ 予算の適切な執行には「戦略」が必要。<u>行政事業レビューのプロセスは、「戦略」を踏まえ、「評価の視点の一覧」等を明確にして行うべきであり、これを欠いたまま実施すれば、1件1件の案件毎のチマチマとしたチェックになりがちである。</u>・ 各省庁の行政事業レビューの実施に当たっては、予算や事業の実態に応じて、メリハリを付けて取り組むべき。 (以上は、堀江正之氏のコメント)・ <u>金融庁の予算執行は一部に執行率の低い事業が存在しているものの、執行状況は基本的に適正で、その確認業務も適正かつ機能的に行われたと考えられる。</u>・ 執行率の低い事業の理由を個々に見れば、事前に犯則事件等の発生を予測することが困難であることなど、基本的にはやむを得ない理由によるものと考えられるが、一方で、事業間で予算を柔軟に活用できないため、個々の細分化された事業毎に不足額が生じないように予算を確保していることにより、結果として、執行率が低くなっている面があるのではないか。・ 低い執行率は、予算や計画に対する信頼性を疑わせる結果になりかねないことから、事業を細分化せず、もう少し大くりな事業単位への見直しを検討する必要があるのではないか。 (以上は、宮内忍氏のコメント)



項目	活動内容
(3) 予算監視・効率化の推進体制	チームリーダー : 東副大臣 サブリーダー : 和田大臣政務官 事務局長 : 総括審議官(官房担当) チームメンバー : 総務企画局総務課長 総務企画局政策課長 総務企画局総務課管理室長 総務企画局政策課政策評価室長 総務企画局企画課長 検査局総務課長 監督局総務課長 証券取引等監視委員会事務局総務課長 公認会計士・監査審査会事務局総務試験室長 外部有識者 : 堀江 正之氏(日本大学商学部教授) 宮内 忍氏(公認会計士)
(4) 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所	・4月28日 ・ http://www.fsa.go.jp/common/budget/kourituka/02.html



項目	活動内容
(5) 予算監視・効率化 チーム定例会合の 開催状況	・第1回会合(4月26日) チームの設置等 ・第2回会合(6月25日) 重要な調達の前審査等 ・第3回会合(8月27日) 第1四半期の取組み全体の自己評価 概算要求における行政事業レビューの反映(報告) 等
(6) 支出負担行為又 は支出に関する 計画の進捗管理	(i) 計画立案対象経費 ①旅費 ②庁費 ③5千万円以上の情報システム経費等【(7)参照】 (ii) 進捗管理の上期実施状況 ①上期の取組み・進捗コメント ○旅費・庁費 : 年度末駆け込み執行防止のための周知及び研修を実施 ○システム経費等 : 必要性、有効性、効率性の観点から前審査を実施 ②上期進捗実績表: 別添のとおり (iii) 開示の対応状況 ①支出負担行為に関する計画 : 開示済(4月28日) ②支出負担行為に関する計画の実績 : 開示済(8月31日)
(7) 予算執行上の重 要な決定等につい ての前審査	(i) 前審査対象の範囲 ①法令外国語訳経費 ②公認会計士試験システム関係経費 ③情報提供端末経費 ④モニタリングシステム関係経費 ⑤EDINET関係経費 (ii) 前審査の上期取組み 第2回会合において①及び②の前審査、報告 (注)③及び④は、本年度は、すでに調達決定済のため前審査の対象外



項目	活動内容
(8) 国民の声の受付 ・対応	(i) 受付体制の整備状況 : 専用のメールアドレス(yosankanshi@fsa.go.jp)を設置 (ii) 上期受付状況 : 0件 (iii) 開示の対応状況 : 0件
(9) 予算執行の効率化 等に向けた職員参 画向上等の取組み	・庁内ポータルサイトに受付窓口を設置 ・職員に積極的参加をメールで周知(4月28日) ・部内研修を実施(8月19日)
(10) 予算要求への 反映	行政事業レビューにより23年度予算要求に7事業・96百万円を反映 ホームページアドレス: http://www.fsa.go.jp/common/budget/kourituka/03/07.pdf
(11) 「予算執行の情 報開示充実に関す る指針」に基づく開 示状況	1. 予算執行情報開示に関する一元的なアクセスポイントの創設 http://www.fsa.go.jp/common/budget/kourituka/index.html 2. 予算執行状況の継続的な開示 : 開示済(8月31日) 3. 予算執行に関する意思決定の情報開示 ① 公共調達に関する情報開示 ・ 契約情報 : 7月分まで開示済(9月10日) ・ 競争性のない随意契約 : 第1四半期分について開示済(7月16日) ② 公共事業等に関する情報開示 : 該当なし ③ 補助金に関する情報開示 : 該当なし 4. 予算の支出目的に着目した情報開示 ① 委託調査費 : 開示済(8月13日) ② タクシー代 : 開示済(8月13日)



項目	活動内容
(12)その他の取組み	なし
(13)予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価	<p>(i)自己評価</p> <ul style="list-style-type: none">○予算監視・効率化推進のため、<ul style="list-style-type: none">・行政事業レビューの自己点検・行政事業レビュー結果の予算要求への反映・5千万円以上の情報システム等の重要な調達の前審査・契約形態の妥当性や執行の適正性等の確保等の取組みを計画的に実施○情報開示も充実○上半期の全体に関する評価については、<ul style="list-style-type: none">・予算執行は総じて適切・一方、システム関連経費は、より適切かつ効率的な執行の実現に向けて、プロジェクト管理等の面で改善の余地・今後とも透明性を確保し、予算監視・効率化チームの取組みの推進により、予算執行の適切性、効率性の向上に努めることが必要 <p>(ii)開示の対応状況</p> <p>開示済(8月31日)</p>